

県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」

1 目的

わが国は世界に類を見ない速さで高齢化が進展しており、慢性疾患や複数の疾病を抱える患者の増加が見込まれるなか、平成 30 年度には診療報酬と介護報酬の同時改定、また、第 7 次医療計画と第 7 期介護保険事業（支援）計画が開始されます。各地域において、急性期医療から在宅医療、介護までを切れ目なく提供するため、医療・介護の担い手である医療従事者や医療機関等が、将来にわたり充分且つ安定的に確保され、2025 年から先の将来をも見据えた、より効率的で効果的な医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築を推進していかなければなりません。

一方で、消費税 10%への引き上げが迫るなか、国民や医療機関等に不合理な負担を強いている医療に関する消費税問題につきましても、国民への適切な医療・介護の提供を妨げる大きな要因となっており、早急に抜本的な解決を図っていかなければなりません。

このような思いから、“持続可能な社会保障制度の確立を求める県民の声を政府に届けること”を目的とした県民集会を開催します。

2 主催 神奈川県民医療推進会議

神奈川県医師会、神奈川県病院協会、神奈川県歯科医師会、神奈川県薬剤師会、神奈川県看護協会、神奈川県臨床検査技師会、神奈川県放射線技師会、神奈川県栄養士会、神奈川県柔道整復師会、神奈川県鍼灸マッサージ師会、神奈川県理学療法士会、神奈川県精神科病院協会、神奈川県有床診療所協議会、日本精神科看護協会神奈川県支部、かながわ福祉サービス振興会、神奈川県作業療法士会、神奈川県臨床工学技士会、神奈川県医療専門職連合会、神奈川県歯科衛生士会、神奈川県歯科技工士会、神奈川県消費者の会連絡会、神奈川県老人保健施設協会、神奈川県病院薬剤師会、神奈川県精神神経科診療所協会

3 日時 平成 29 年 12 月 5 日（火） 午後 6 時 00 分～7 時 00 分

4 場所 神奈川県総合医療会館 7 階大講堂 横浜市中区富士見町 3-1
TEL 045(252)1301

5 対象 一般県民および医療関係者 約 300 名

6 次第
開会 司会 神奈川県医師会理事 石井 貴 士
神奈川県民医療推進会議副会長（神奈川県歯科医師会長） 鈴木 駿 介
主催者挨拶 神奈川県民医療推進会議会長（神奈川県医師会長） 菊岡 正 和

基調講演 座長 神奈川県医師会理事 渡辺 雄 幸

「医療と消費税 改めて税と社会保障の一体改革を考える」

講師 神奈川県病院協会副会長 窪倉 孝 道

「医療・介護の適正な財源確保に向けて」

講師 神奈川県医師会副会長 池上 秀 明

決意表明 (神奈川県歯科医師会)
(神奈川県薬剤師会)

決議採択
閉会 神奈川県民医療推進会議副会長（神奈川県薬剤師会長） 鵜飼 典 男

(案)

決 議

世界に類を見ない少子高齢社会において、国民が生涯にわたり健やかでいきいきと活躍し続ける社会を実現していくためには、持続可能な社会保障制度の確立が不可欠である。

よって、本会議の総意として次のとおり要望する。

- 一、国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して十分に受けられるための適切な財源の確保

- 一、国民と医療機関等に不合理な負担を強いている医療に係る消費税問題の抜本的な解決

以上、決議する。

平成 29 年 12 月 5 日

神奈川県民医療推進会議